

ERL推進室報告

2010年9月10日 河田 洋

- JAEAからの開発予算提案について(羽島氏報告)
- 補正予算の球出し
- 東カウンターホール整備追加配分(先端加速器から)

レーザーコンプトン散乱 γ 線源利用核共鳴蛍光非破壊測定実証試験について(JAEAからの提案)

- 平成23年度~平成25年度に予算要求
(羽島氏報告参照)

補正予算の球出し(機構内調査段階)

- 今年度発注、次年度納入可能な件案
- ERL関係からは12.6億円計上

区 分		員 数	金 額(千円)
高輝度電子ビーム源の開発設備			1,260,000
(内訳)			
(1)	電子銃・入射系	一式	140,000
(2)	超伝導空洞整備	一式	120,000
(3)	電磁石系	一式	220,000
(4)	真空系	一式	120,000
(5)	モニター・制御系	一式	140,000
(6)	RF電源およびローレベル制御系	一式	220,000
(7)	ヘリウム冷凍機整備	一式	60,000
(8)	放射線遮蔽・安全系	一式	240,000

今年度予算

- 電子銃電源入札による余剰金について
(入札の結果、約900万円節約できた。
→ 入射部の整備したい。(具体的にはモニター・制御系))
- 東カウンターホール整備追加配分
(先端加速器から1000万円追加配分、さらに高崎理事から機構内での追加配分の可能性を働きかけ)